

大松 康祐

平素は御無音に打ち過ぎ失礼の段悪しからず御容赦下さいませ。さて此度私儀米寿を迎えますに当り心こもる結構な御祝ひの品御送り下され有難く拝受仕りました。感謝感激幸栄の至りで御座います。永く家宝として傳えて参ります。

仰せの通り愈々健康に留意し天寿を完うする様心掛け度いと存じます。

先は右乍略儀書状をいて御礼申し上げます。 敬具

亡夫 久保 辰生
内 久保 豊子

只今たつみ五十一号御送付戴きまして有難う存じました。切角お送り戴きましたのに辰生は長い闘病生活のすえ去る五月十八日死去致しました。遺云一つない静かな寂しい死でございました。

長年の御交情の程有難く厚くお礼申し上げます。
右記通知のみ申し上げます。

柘植五百刀

炎暑のみぎり益々清適の段大慶に存じ上げます。

扱てこの度誕生日を七月廿五日に迎えるに当り米寿の祝として銀盃ご送付頂き充余至極と有難く拝受致しました。

昭和五十三年一月には喜寿の祝として輪島塗の大朱盃の寄贈を受け二勿の榮譽を頂きました。次は三度目の榮譽を頂かんものと期待精進致して居ります。昭和七年滋賀県仲村高等学校を卒業し神戸本社に入店、夏の本社焼討事件に本社前の神戸又新日報前で焼討に涙をのみ北野合宿にたどりつきました記憶が生々として残っています。

辰巳会の先輩の皆様にもよろしくお伝え下さいますようお願い致します。謹んでお礼申し上げます。 七月三十一日

小林 俊夫

拝啓
ぐづついた天気が続いていますがどうやら真夏の天候となった様です。

「たつみ」編集部の皆さん御健在の事と存じます。

「たつみ」五十一号ありがとうございます。

読み終えて鈴木の仕事の手広く大きかった事を改めて感じていきます。

皆様の御健康を祈ります。 八月三日 草々

鈴木佐賀子

只今は美しい須磨寺の表紙のたつみ51号お贈り頂きましたことにおなつかしく有難く頂戴させて頂きました。皆様の御壮健なお写し絵などおなつかしく拝見いたし、益々いつまでも御元氣の様に祈り上げ御厚礼まで申し上げます。 先は一筆御礼までますますの御長寿の程をお祈り申し上げます。

八月四日

真玉 修一

暑中御見舞申し上げます。

本日「たつみ」第五十一号拝受致しました。先日辰巳会合の節は種々御高配に預り感謝致して居り茲に厚く御禮申し上げます。会誌を載き早速拝読しました。

誠に須磨寺会合の様子等を思い出し御禮の申し上げ様も御座居ません。

今後共宜敷御願ひ申し上げます。酷暑の折柄皆様の御多幸と御健康をお祈り申し上げます。 先は右御禮まで 敬具

松本 寿賀

暑中御見舞申し上げます

きびしいお暑さで御座いますが御健祥の御事御喜び申し上げます。 たつみ誌51号御送付頂戴致しまして誠に有がたく存じました。 大慶楽しく拝見させて頂きました。

北野 浅美

暑中お見舞い申し上げます。平成元年八月盛夏「たつみ」五十一号正に拝受致しました。さぞお骨折の事と存じます。お美事です。来年もまたお世話になります。お揃いでご壮健をお祈り申し上げます。

武内 雪恵

秋になりました。 たつみ号51号いつも御親切に有難う存じました。

実家の弟の家内が目の手術で毎日見舞いについて居ります。また老人会で名追山へ一泊の会でほんとお札状差しあげますがおそくなりまして申訳御座いません。山荘で老鷲をたのしく箴声も聞きました。

高知はよさこい踊りで夜は花火で賑って居ります。でも世話になった弟嫁ですから今日も見舞いに参ります。 ほんとにいつも御親切に心より有難く厚くお礼申しあげます。

お寺で古代の蓮の花も見せて頂きました。

立秋とは申せまだくお暑う御座いますのでお身体おいとひ下さいます様どうも有難う存じました。

野市と云う所で坂本龍馬先生の人がかざつて御座います。ほんとに涙しながら眺めた事で御座います。御存じですが有名純信お馬のありました。昔は僧の恋はむつかしかったそうで御座いますね。 追伸ごめん下さいませ

永岡恵一郎

拝啓 酷暑の折、皆様には益々御隆昌の事と存じます。此度は「たつみ」御恵送賜わり有り難うございました。

父(永岡恵)も今年七回忌を迎えましたが生前いつも「鈴木」に勤めた事を誇りにし私共に語って呉れていました。「たつみ」早速仏前に供へ参りました。 先は御礼迄、今後共よろしく御願ひします。

岡田 静子

前略 「たつみ」五十一号お送り頂きましてありがとうございます。先づ佛前に供え拝読いたしました。和服姿の女人達の奏でる須磨琴の音がさわやかに聞こえてくる様な美しい表紙に、しばし見とれました。

辰巳会御一同様には、東京支部、新年例会、春季例会にお集まりになり、昭和天皇、辰巳会の物故者の御冥福をお祈りになり、鍵田忠三郎様の特別講演「雲は地中の異変を反映します」お話を読み、「二十歳の金子、神戸への貴重な御文章、昔の生田神社鳥居前の写真を拝見しなつかしく存じました。鈴木薄荷に御勤務の小松彰男様が亡くなられた事を知り私共、神戸市灘区高羽の水害にあい、大そうお世話になりました事を思い出し一入悲しく、又なつかしく謹んで御冥福をお祈りいたします。立秋の使者の如く法師蟬が鳴き出し、盆祭りも終り、やがてこおろぎが鳴き出します。

流る、水の如く月日は過ぎて行

きます。

平高 義子

暑中御見舞申し上げます。

先日は美しい辰巳会誌をお送り下さいまして誠に有難うございました。又楽しみにしておりました全国大会にも出席させて頂き感謝しております。

当日は愛憎く雨となりましたが素晴らしい一弦琴の音色にしばし思いを悲運の武將の上に馳せ胸せまる思いを致しましたのは私一人だけではございませんでした。う。本当に有難うございました。

幹事の皆様色々企画にお心づかい遊ばされる事と存じますが、何卒お体おだいじ下さいます様辰巳会の御発展を心よりお祈り申し上げます。

亡母 長崎 シゲ
長男 長崎 正造

拝啓 益々御清勝のこと大慶に存じ上げます。辰巳会報御恵送いただき有難く厚く御礼申し上げます。長崎シゲは昭和五十六年四月十三日享年九十九歳を以って他界致しました。右御礼とお知らせ申し上げます。 敬具

故長崎英造（昭和28年4月28日 他界）

故長崎シゲ

和田 陽子

暑中御見舞申し上げます。

先日は辰巳会報をお送り下さいまして誠に有難うございました。何度かお顔を見たことのある方々のお名前やお写真を懐かしく拝見させていただきました。心よりお礼を申し上げます。末筆ながらご健勝をお祈り申し上げます。

唐戸 登美

残暑御見舞申し上げます。「たつみ」51号をお送り下さいまして有難う御座いました。毎号お送り下さいましたのに、その都度お礼も申し上げませず失礼をいたしてをります。

お店にお世話になってをりましたところはほんの片隅で云ひつけられたお仕事を不手際乍らおつとめさせて頂いてをりまして何も存じませぬので51号5頁は大変うれしく、なつかしく読ませて頂きました。

右下の寫眞も通はせて頂きました。当時そのままではもう見る事も出来ませぬその他も町名は分るところもありますが大変変ってしまいました。

今回御会は海岸通り4丁目に移転の由なつかしい地名であります。只今、私は一寸した不注意で第12脊椎圧迫骨折で入院中で失礼乍らあを向けに寝たまま書かせて頂いております。もう50日あまりで食事等は座って頂いてをります。が長くは止められてをりますので

失礼させて頂いておゆるし下さい。

親友の古出よね様を失ひ、今回又、いっしょに勤めさせて頂いた村田すま様を失ひ、淋しいことで御座います。が仕方のない事と思はねばなりません。私はもう近く退院出来るかと氣長に養生いたしてをります。

辰巳会の今後も長く長く御発展のことを心よりお祈り申しあげます。

岩永 英三

銀盃

米寿として御送品頂きました嬉んで御収納致しました。

失礼ですが内祝として御同封致しましたので

御受取の程御願ひ申上ます。

杉村 駿太郎

前略

今般左記の処に転居致しましたので御届け申し上げます。

〒518-04 三重県名張市

百合が丘東五番町207

田中 辰巳

御多忙中の処辰巳会では種々と御世話を戴きまして誠に有難うございます。私儀此の度左記へ移転致しましたが、今後共よろしく御願ひ申し上げます。

十月三日

〒253 神奈川県茅ヶ崎市南湖

四一六二七

電話（〇四六七）八六一一九二

篠崎 森枝

住所変更のご通知

〒657 神戸市灘区国玉通3丁目

（大平アパート）5番7号

Ⅷ（〇七八）八八一八三三七

佐野 壽夫

前略

廿日の秋の例会で大阪の新歌舞伎観劇は大変うれしく御高配誠に有難く御礼申し上げます。

また本日は大丸より米寿の銀盃有り難く拝受致しました。鈴木会

長にもよろしく御風声の程御願ひ申し上げます。

近々御礼芳々参上の上御礼申し上げます。何れ其の節重ねて御礼申上度所存で御座います。 敬具

亡祖父 藤川 単二

息子 丹羽 義忠

暑さ、寒さも、彼岸までと申しますが、めっきり秋も深まり朝夕の涼しさが、身にしみる今日この頃ですね。たつみ会の皆様方には、御健勝の事と存じます。お便りを楽しみにいたして居りました祖父が、先日七月になくなり百ヶ日の法要も、無事すませました。生前は何かと、御心くばりいただき、祖父の喜ぶ姿を影ながら家族一同安堵致して居りましたが、八十六才にて、心安らかに大師のお身元に帰らせていただきました。やはり、昔が思い出されてか、自分のお世話になっていた頃の手紙、あれや、これやと話し、とてもなつかしく思い出された様です。今後残された家族も、今まで通

り御指導下さいます様、くれぐれもお願ひ申し上げます。

紙面をおかりして生前の御礼にかえさせていただきます。ありがとうございました。

竹崎 浅吉

「誰でも健康になる」

明治二十七年十月十五日生まれ。高知一中↓神戸高等商業↓福岡九州帝大・法文学部卒。

七十歳で運転免許を取得後、現在に至る。……と言っても現役バリバリのすばらしい方が岸本に住んでいます。

昭和十年より「西式健康法」を始め、各地で行われる講座には殆んど出席し、現在もこの健康法を続けています。

ここで中味をチョット……

○食事は少量（一日二食を昼と夕に……）。昨年から一日一食を三時頃。に腹八分五分程度とし、朝はとらない方がよい。

○体を動かし、血液の循環をよくする。この二つがポイントだそうです。いわく「誰でも健康で長生き



はできる。私も長生きの自信はある。（あと五年で百才になるが夫婦そろって百才以上長生きしたい）とキッパリ。この徹底した健康管理、又愛車に乗った「スーパードライバー」の勇姿に感激です。その人の名は竹崎浅吉さん（94才）今、何が一番大切なのかを教えられました。（高知農協岸本支所だよりから）

物 故 者 名 簿

1.12.31迄

御 芳 名	死亡年月日	享 年	最 終 勤 務 先
二生二郎 勉 寿	平成元年 2月22日	99才	帝国汽船
上保川中永本	〃 5月28日	85才	東京支店
井久藤浜宮坂	〃 7月28日	88才	下関支店
	〃 7月23日	86才	大阪支店
	〃 7月25日	87才	本店小麦課
	〃 8月16日	87才	本店經理課